

原子力災害対策の状況について

第1 最近の動向

1 原子力災害対策指針の改正

別添1

2 新規性基準適合性審査の状況

別添2

第2 京都市における原子力災害対策の取組状況（平成26年11月～平成27年9月）

1 環境放射線モニタリング

（1）環境放射線モニタリングの実施

別添3

- ・環境放射線モニタリング計画及び水道対策計画に基づき、モニタリングを実施
- ・実施項目『空間放射線量率』、『水道水及び水道原水』、『農産物』、『河川水及び底質土』

（2）環境放射線モニタリング資機材の整備

- ・測定機器（NaIシンチレーションサーベイメータ）の校正（平成27年度内実施）

2 避難活動体制の整備

（1）原子力災害避難計画に基づくUPZ3地域の避難マニュアルの修正

UPZの各地域の住民が、避難マニュアルを見直し、連絡網、地元集合場所、車の乗合い、要配慮者の支援体制等を最新の内容に修正

- ・左京区久多（平成24年8月作成、平成25年11月修正、平成26年8月修正）
- ・左京区広河原（平成24年8月作成、平成26年1月修正、平成26年8月修正）
- ・右京区京北上弓削町上川行政区（平成25年8月作成、平成27年4月修正）

（2）原子力防災訓練の実施

- ・日 時 平成27年11月22日（日）午前9時～
- ・場 所 京北第三小学校ほか
- ・対象地域 京都市右京区京北上弓削町の一部
- ・主な内容
 - ①情報伝達訓練（避難マニュアルを活用した連絡網による避難情報の伝達）
 - ②避難訓練（自宅→地域の集合場所→訓練会場→右京区総合防災訓練会場）
 - ③受付・健康調査・スクリーニング
 - ④安定ヨウ素剤予防服用の手順（チェックシートの確認等）

3 原子力防災に関する市民等に対する知識の普及と啓発

(1) 市民向け啓発パンフレットの配布

- ・パンフレット『京都市の原子力防災』の配布（平成27年5月）
作成部数 18,500枚
配布先 市役所、区役所・支所、消防署、図書館等での配架
消防団、自主防災組織への配布
UPZ内の全世帯への配布、自主防災会からの回覧

(2) 住民に対する原子力防災に関する普及・啓発（講習会の実施）

- ・原子力防災に関する講習会の実施
期 日 平成27年11月22日（日） ※原子力防災訓練と同時開催
講習内容 「安定ヨウ素剤の予防服用等について」
講 師 京都市防災会議専門委員会（原子力部会）大野和子委員

4 防災業務関係者の育成

(1) 防災業務関係者に対する研修等（平成27年）

- ・平成27年1月23日（金）災害対策要員研修【国主催】
（受講者）防災危機管理室 1人
- ・平成27年7月30日（木）防災業務関係者のための放射線防護研修【国主催】
（受講者）防災危機管理室 2人
- ・平成27年9月3日（木）～4日（金）原子力防災基礎研修【京都府主催】
（受講者）防災危機管理室 1人
10日（木）～11日（金）原子力防災基礎研修【京都府主催】
（受講者）防災危機管理室 1人

5 広域避難への対応

府の「原子力災害に係る広域避難要領（平成27年2月）」に基づき、舞鶴市からの避難者受入（最大約6万5千人）に対応

別添4